NATURAL SOUND SPEAKER SYSTEM

NS-C10MM

取扱説明書

このたびは、ヤマハ スピーカーシステムNS-C10MMをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

NS-C10MMの優れた性能を十分に発揮させると共に、末永くご愛用いただくためにも、ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

本取扱説明書には、安全にお使い頂くために、関連機器（アンプ）を含めた取扱上のご注意等も一部記載されております。

保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店名、購入日などの記入がありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合、実費をいただくことがありますので、十分ご注意ください。

音楽を楽しむエチケット

これは日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

ご使用の前に必ずお読みください。

目次

安全上のご注意（安全に正しくお使いいただくために）

ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。またお読みになったあと、いつでも見られる所に必ず保存してください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示例

気をつけなければならない内容を表しています。
たとえば ⚠ は「感電注意」を示しています。

してはいけない「禁止」を表しています。
たとえば は「分解禁止」を表します。

必ずしなければならない行為を表しています。
たとえば は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示しています。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- スピーカーコードを足や手に引っかけて本機を落下させることのないように、コードは必ず壁等に固定してください。
- 取り付け後は必ず安全性を確認してください。またその後、定期的に落下の可能性がないか安全点検を実施してください。取り付け箇所、取り付け方法の不備による事故等の責任は、当社では一切負いかねますのでご了承ください。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

水場での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

分解禁止

- 本機のユニットは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- 本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
  特にお子様が上に乗ったり、寄りかかったりしないように、十分にご注意ください。
- 直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えます。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えます。

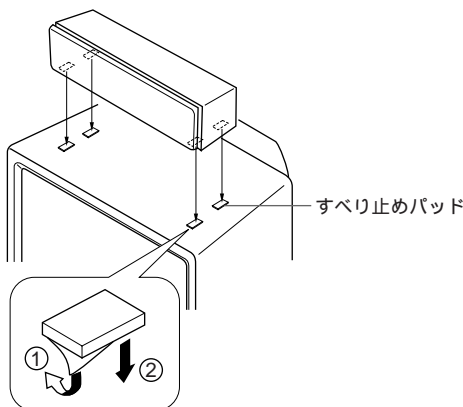
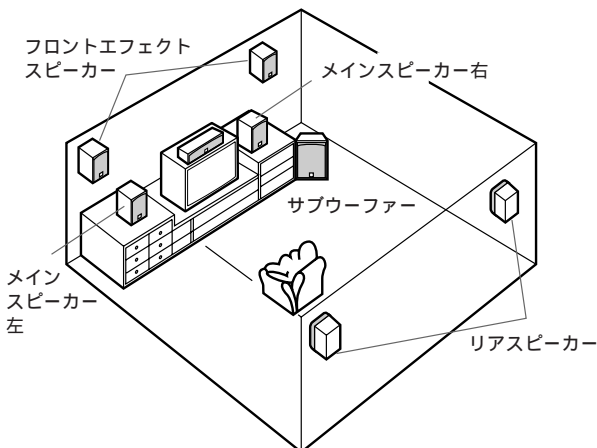
- 移動させる場合はアンプの電源スイッチを切り、接続コードを外してから行ってください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- 接続する場合は各々の機器の取扱説明書をよく読み、アンプの電源を切り、説明に従って接続してください。

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

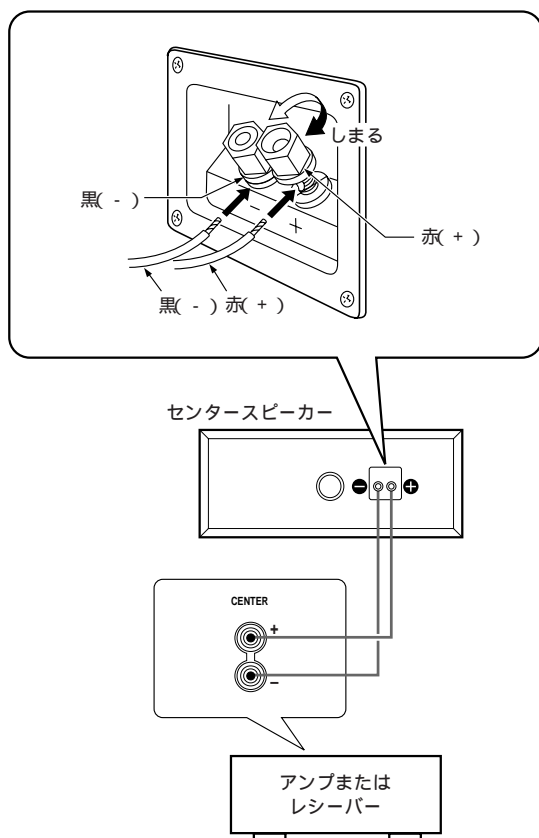
設置について

テレビの上、テレビラックあるいはテレビ前下の床などで、テレビ中央にあたる安定した場所に設置します。

テレビの上に設置する場合は、付属のすべり止めパッドをスピーカーの底面とテレビの上面に貼り、スピーカーが落下しないよう、固定してください。

ご注意（重要なご注意です。必ずお読みください。）

- テレビの上面がセンタースピーカーの底面より狭い場合、スピーカーをテレビの上には設置しないでください。本機が落下すると、けがや本機の破損の原因となります。
- スピーカーコードを足や手に引っかけて本機を落下させることのないように、コードは固定してください。

アンプとの接続

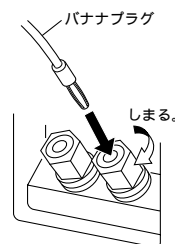
- 接続するときは、必ずアンプの電源を切ってから行ってください。
- スピーカー背面のネジ式入力端子とアンプのスピーカー出力端子を付属のスピーカーコードで接続します。

アンプについて

- スピーカーの許容入力以上の出力を持つアンプを使用される場合は、スピーカー保護のため、最大入力以上の出力を加えないよう、ご注意ください。
- アンプのトーンコントロール（BASS、TREBLE等）やイコライザーを最大にして大出力でご使用になったり、特殊な信号（テープの早送り時の音、レコードプレーヤーの針先のショック音、信号発生器の特定の周波数、サイン波などの再生音）を連続して加えることは、スピーカーの破損の原因となりますので、絶対に行わないでください。

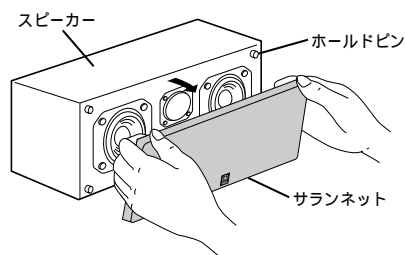
バナナプラグの場合

バナナプラグを使用する場合は、端子を強くしめてから差し込んでください。

※ 端子には製品保護の為のプラスチックのハメ込みがしてあります。バナナプラグ使用時には必ず取り除いてください。

サランネット

サランネットは、はめ込み式で取り付けられています。取り外す場合は、サランネットの4隅を手前に引くと外れます。取り付けは、サランネット裏側ホルダーと本体側ホールドピンを合わせて、押し込みます。

（サランネットの布部分は押えないでください。）

ご注意

- サランネットを外した状態で、スピーカーユニット、特にツィータに手を触れたり、工具などで無理な力を加えないでください。音が歪む原因となります。
- スピーカーの振動板には手を触れたり、ショックを与えないでください。音が歪む原因となります。
- 本機は、防磁型設計となっておりますが、万一テレビの近くでご使用になり色ムラなどが生じるときは、テレビとスピーカーの距離を離してご使用ください。

参考仕様

型式	2ウェイバスレフ・防磁型
スピーカーユニット	ウーファー　9cmコーン×2 ツィーター　2.5cmバランスドーム
許容入力	50W
最大入力	125W
再生周波数帯域	100Hz〜33kHz
出力音圧レベル	91dB/2.83V/m
インピーダンス	6Ω
クロスオーバー周波数	7kHz
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	312×101×141mm
重量	2.3kg
付属品	スピーカーコード（4m）×1 すべり止めパッド×4

※ 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※ 上記の最大入力値以上の信号を加えないよう十分ご注意ください。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。
サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

● 保証期間
お買い上げ日より1年間です。

● 保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間が過ぎているとき
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● 修理料金の仕組み
- ◆ **技術料** 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
- ◆ **部品代** 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- ◆ **出張料** 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

● 補修用性能部品の最低保有期間
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年(テープデッキは6年)です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 持ち込み修理のお願い
故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

● 製品の状態は詳しく
サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※品番、製造番号は本機背面に表示してあります。

● スピーカーの修理
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● 摩耗部品の交換について
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお薦めします。
摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例
ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

YAMAHA
ヤマハ株式会社
〒430-8650 浜松市中沢町10-1
AV国内営業部 TEL (053) 460－3451
AV･IT品質保証部 TEL (053) 460－3405
住所および電話番号は変更になることがあります。

■ ヤマハAV製品の機能や取扱いに関するお問合せは

お客様ご相談センター
TEL (03) 5488－5500
ご相談受付時間　10:00～12:00，13:00～17:00
（土・日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきますのであらかじめご了承ください。）

■ ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問合せは
（ヤマハ電気音響製品サービス拠点）

北海道	〒064-8543	札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL (011) 512 - 6108
仙　台	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL (022) 236 - 0249
首都圏	〒211-0025	川崎市中原区木月1184 TEL (044) 434 - 3100
浜　松	〒435-0016	浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内 TEL (053) 465 - 6711
名古屋	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F TEL (052) 652 - 2230
大　阪	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内 TEL (06) 6877 - 5262
広　島	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14 TEL (082) 874 - 3787
四　国	〒760-0029	高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内 TEL (087) 822 - 3045
九　州	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092) 472 - 2134

愛情点検

★永年ご使用の本機の点検を！

こんな症状はありませんか？
- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。

すぐに使用を中止してください。
事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

Printed in Indonesia　V693470